

# 年頭のごあいさつ



鞍手町長 徳島真次

新年 あけましておめでとうござい  
ます。

町民の皆さまにおかれましては、平  
成30年の新春を健やかに迎えのこと  
とお慶び申し上げます。

平素より町行政の推進に温かいご理  
解とご支援を賜り厚く御礼申し上げま  
す。

昨年1月の町長選挙におきましては、  
無投票での再選となり2期目の町政の  
舵取りを担わせていただくことになり  
ました。これも皆さまの期待の大きさ  
の表れであり、責任の重さを痛感し、  
身の引き締まる思いです。皆さまの負  
託に応えるべく誠心誠意取り組んでま

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

平成30年 元旦

いりますので、今後とも特段のご支援  
をお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、7月  
に福岡県と大分県を中心とする九州北  
部豪雨が発生しました。被害を受けら  
れた皆さまには心からお見舞い申し上  
げます。世界各地でも大きな地震や豪  
雨等の災害が発生しており、地球規模  
の異常気象等が顕著になっております。  
今後さらに大きな災害が発生しないこ  
とを祈るばかりです。

幸いにも本町には、大きな災害の発  
生はありませんでしたが、いつ起こる  
かわからない自然災害に対し、今後も  
危機管理体制の充実・強化に努め、災

害に強い安全・安心なまちづくりに向  
けて引き続き取り組んでまいります。

本町におきましては、平成28年度よ  
り「第5次鞍手町総合計画」に基づき、  
将来像に「新たな力で躍動するまち  
くらすて」、キャッチフレーズに「未来に  
つなぐ、つながる 希望の芽」を掲げ、  
次の世代が夢と希望を抱けるようま  
ちづくりを進めております。

その一つとして昨年から地方独立行  
政法人くらすて病院と役場庁舎の建て替  
えに向け本格的に取り組んでおります。  
くらすて病院は、本町にとどまらず周辺  
自治体を含めた地域医療の核として、  
役場庁舎は緊急災害時の防災拠点とし

て、いずれも住民の安全・安心の核と  
なる重要な施設であります。

また、鞍手インターチェンジ周辺開  
発についても民間活力を取り入れなが  
ら今後も官民一体となって取り組んで  
まいります。

さらに、町内の主要道路の整備も進  
められております。平成27年3月に開  
通した北九鞍手夢大橋への暫定的な接  
続道路は、福岡県の事業として直進性  
のある本来の計画道路へと改修されて  
おります。また、鞍手インターチェン  
ジへのアクセス道路の延伸も着実に進  
められております。

このように、輝かしい未来に向けて

本町を取り巻く環境は今後も大きく変  
化してまいります。

本年も、町民の皆さまと共に知恵と  
力を出し合いながら、「鞍手町に住んで  
よかった。これからも住み続けたい。」  
と実感できるまちづくりに邁進してま  
いりますので、なお一層のご理解とご支  
援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様と鞍  
手町のさらなる飛躍の年となりますよ  
う祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

